

今号は、令和元年11月30日(土)、12月1日(日)に三重県松阪庁舎で開催した「令和元年度三重 DPAT 研修」についてお知らせします。

DPAT とは

「DPAT(Disaster Psychiatric Assistance Team)」とは災害派遣精神医療チームのことを言います。自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの集団災害の後、被災地域に入り、被災者及び支援者に対して、精神科医療及び精神保健活動の支援を行う専門的なチームのことです。

三重 DPAT 研修の内容

研修では①DPAT の組織体系・役割の理解②災害時における各職種の役割の理解③災害時における情報管理方法の理解④県内精神科医療機関などのネットワークを広げることを目的に、平成28年度から三重 DPAT 研修を開催しております。具体的には三重県地域防災計画等の体制、平時の精神保健医療サービスの体制、災害医療概論(災害精神医療概論を含む)、DPAT の役割、DMAT の役割、災害現場における指揮命令・安全確保・情報伝達、災害現場における諸機関との連携等について、講義や演習(机上訓練等)を実施しました。

講師及びファシリテーターは DPAT 先遣隊である三重県立ころの医療センターと独立行政法人国立病院機構 榑原病院、独立行政法人国立病院機構 三重中央医療センターDMAT、DPAT 事務局インストラクター、県防災対策部災害対策課、医療保健部健康づくり課の皆様にご担当いただきました。

研修1日目

DPAT 体制や活動における各職種の役割、三重県の大規模災害における被害想定や平時における精神科救急体制、DMAT と DPAT の連携について講義形式を中心に行いました。

また、身体トリアージや災害時における医療情報整理、広域災害救急医療情報システム(EMIS)、災害診療記録(J-SPEED)では、講義に加えて各テーブルにファシリテーターを配置し、演習を行いました。



研修2日目

三重県内での大規模災害の発生を想定した演習を実施しました。

演習は庁舎内の階やフロアを分けて、災害調整本部、活動拠点、避難所、病院などの場面を設定しました。参加者の各チームにファシリテーターが入り演習を進行していきました。

演習後は各チームでの振り返りを行い、その後に全体での演習の振り返りを行いました。



2日間の研修を終えて

研修には11の精神科医療機関の参加がありました。また、市町、保健所、地方災害対策部などの担当者も見学による参加がありました。研修を通じて、「DPATの流れを理解することができた」「繰り返し訓練を重ねる必要があると改めて感じた」「演習によって、情報のリアルさ、正確さがいかに重要か学ぶことができた」などの感想をいただきました。

<ご案内> センターでは以下の講演会・研修会を予定しています。
詳細は[センターホームページ](#)

令和元年度 依存症フォーラム

「依存症自助グループと障害者運動 無力の力、他力と自力」

令和2年3月7日(土) 10時30分～16時 三重県人権センター 多目的ホール

- ・講師 東京大学先端科学技術研究センター 准教授 熊谷 晋一郎氏
- ・対談 東京大学先端科学技術研究センター 准教授 熊谷 晋一郎氏
特定非営利活動法人 三重ダルク 代表 市川 岳仁氏
- ・三重ダルクメンバーの語り

発行: 三重県こころの健康センター

〒514-8567 津市桜橋 3-446-34 三重県津庁舎保健所棟 2階

TEL: 059-223-5241(代) FAX: 059-223-5242

URL: <http://www.pref.mie.lg.jp/KOKOROC/HP/>



サポートします!
こころの健康